

平成29事業年度

# 決 算 報 告 書

第14期

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

国立大学法人豊橋技術科学大学

# 平成29年度 決算報告書

国立大学法人 豊橋技術科学大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
<b>収入</b>				
運営費交付金	3,697	3,720	23	(注 1)
施設整備費補助金	305	146	△ 159	(注 2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	625	692	67	(注 3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	27	27	-	
自己収入	1,470	1,458	△ 12	
授業料, 入学料及び検定料収入	1,216	1,188	△ 28	(注 4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	254	270	16	(注 5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	862	1,328	466	(注 6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	11	11	-	
計	6,997	7,382	385	
<b>支出</b>				
業務費	5,167	4,785	△ 382	
教育研究経費	5,167	4,785	△ 382	(注 7)
施設整備費	332	173	△ 159	(注 8)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	625	692	67	(注 9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	862	1,088	226	(注 10)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	11	12	1	(注 11)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	6,997	6,750	△ 247	
収入-支出	-	632	632	

## ○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった年俸制導入促進経費の追加交付がされたことにより、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注 2) 施設整備費補助金については、施設整備費補助金の計画変更により、予算額に比して決算額が159百万円少額となっています。
- (注 3) 補助金等収入については、予算作成段階では予定していなかった国等からの補助金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が67百万円多額となっています。
- (注 4) 授業料, 入学料及び検定料収入については、学生在籍者数の減等により、予算額に比して決算額が28百万円少額となっています。
- (注 5) 雑収入については、主として企業説明会の実施による収入の増等により、予算額に比して決算額が16百万円多額となっています。
- (注 6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究・受託研究及び寄附金の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が466百万円多額となっています。なお、前年度以前からの繰越額は212百万円です。
- (注 7) 教育研究経費については、執行計画の見直しによる経費の節減、退職者の減等により、予算額に比して決算額が382百万円少額となっています。
- (注 8) (注 2) に示した理由等により、予算額に比して決算額が159百万円少額となっています。
- (注 9) (注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額が67百万円多額となっています。
- (注 10) (注 6) に示した理由等により、予算額に比して決算額が226百万円多額となっています。
- (注 11) 長期借入金償還金については、利息の発生により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。

## ○損益計算書との集計区分の相違について

- 業務費の教育研究経費には、損益計算書の教育経費, 研究経費, 教育研究支援経費及び一般管理費が含まれ、寄附金を財源とする費用は含まれていません。
- 損益計算書の役員人件費は、業務費の教育研究経費に含まれ、教員人件費及び職員人件費は、業務費の教育研究経費, 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等にそれぞれ含まれています。